SEIG VISION REPORT

聖学院ビジョンレポート

2018−2023

学校法人聖学院 長期構想委員会

建学の精神

神を仰ぎ　人に仕う

Love God and Serve His People

「幻（ビジョン）のない民は滅びる」。箴言29章18節に記された聖句です。歴代理事長の願いだった長期ビジョン及び中期経営アクションプランを、長期構想委員会のメンバーと共に延べ８回の会合で様々な側面から検討して策定いたしました。

2016年度の当初予算において、次年度繰越金がマイナスとなり財政危機に直面しましたが、教職員と共に痛みを分かち合い危機を回避することができました。

2023年度には、聖学院の前身である聖学院神学校創立120周年を迎えます。今、聖学院の百数十年の歴史の上に立っている私たちに与えられている責務は、教職員の痛みを一日も早く回復させていただくとともに、私たちが更にその先に向かっていくための希望を指し示すことであると考え、聖学院長期ビジョンを策定いたしました。

ビジョンのもとに具体的目標として、学院創立120周年までに達成すべき中期経営アクションプランを、①教育、②財政、③施設・設備、④人材・組織、⑤ICT、⑥広報の６つの領域で設定いたしました。アクションプランの設定に当たっては、学院の建学の理念を堅持するとともに、国連がSDGsとして掲げる国際社会の目指すべき目標を具体的指標として、二つを良き形でリンクさせました。

私たちを取り巻く外部環境は年々厳しさを増していますが、一方好機と捉えられる事象もあります。また聖学院内部には弱みもあれば強みもあります。私たちはこれらの事象を正しく把握した上で、起こりうる様々な課題を解決していく決断力と行動力が必要になってまいります。

学院創立120周年に向けて設定した中期目標を一つひとつ達成していくならば、聖学院が更に発展していくことは間違いありません。そのためには私たち一人ひとりに与えられた職務を誠実かつ一体感をもって実践していこうではありませんか。

2018年6月
学校法人聖学院　理事長
清水 正之

SEIG VISION

神を仰ぎ 人に仕う

VISION 2018-2023　キーメッセージ

将来の日本および国際社会に貢献する人間を育成
「誰一人取り残さない」世界の実現を目指して

Only One for Others

成長に貢献する

英語教育
アクティブラーニング
ICT教育

他者に貢献する

キリスト教教育
ボランティア活動
地域連携推進

世界に貢献する

SDGs推進※1
日本留学AWARDS
国際交流

社会の課題

・環境
・ダイバーシティ
・自然災害
・ジェンダー
・コミュニティ
・労働
・紛争
・教育
・貧困
・経済

学院の使命

幼稚園から大学院までを擁する
教育機関としての社会的責任

SR（Social Responsibility）

カリキュラムの目的を可視化
学ぶ意欲を引き出す

2018
聖学院ビジョン策定
グローバル･コンパクト※2 署名、加入

サーバント・リーダーシップの育成
社会に貢献する人材を輩出

2023 聖学院創立120周年

※1 SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた17の目標です。
※2 グローバル･コンパクトは2000年に発足した国連の組織で、持続可能な開発目標（SDGs）の推進に力を入れています。

1 教育

「将来の日本及び国際社会に貢献する人間を育成することを教育の根本目的とする」（聖学院教育憲章より）

1 聖学院教育の根本目的（寄附行為第2章第3条）に沿って各校・各園がその特色を生かした教育カリキュラムを作り、社会に貢献する人材を輩出する
2 聖学院教育の理念「神を仰ぎ　人に仕う」に沿ってOnly One for Others（他者のために生きる個人）の教育を深化する

2 財政

学校法人聖学院の経営の安定と教職員の生活の安定を実現するため、2023年度までに学院規模に応じた財政基盤の確立を強力に推進する

1 **収支均衡**
人口動態から見て学生・生徒・児童・園児の人数は減少傾向にあるが、2023年度までに財政の収支均衡を目指す
2 **学納金の増収**
学納金の増収を図る。学納金増収のためには、学生・生徒・児童・園児を安定的に確保するための各校支援策を戦略的に進めていく
3 **外部資金・競争的資金の獲得**
補助金獲得の戦略と体制を整備する。教員のモチベーションに配慮しながらも科研費を獲得できる仕組みをつくる
4 **寄付金の獲得**
ASF寄付金の安定的な確保策を図る。そのためにはASF推進委員会の活性化及び戦略的な募金の仕組みを策定する
5 **学生収容規模の適正化**
学生・生徒・児童・園児の各人数を予測しながら適正な学校規模を検討する

3 施設・設備

遊休地及び既存施設の活用方法について費用対効果を再評価し、社会的人口動態も視野に入れながら、聖学院の未来を見据えた発展的なキャンパス開発を推し進めていく

1 **長期計画**
・駒込3校（男子中高、女子中高、小学校）の体育館の建て替えを検討する
・聖学院中高の中学棟の建て替えを検討する
・さいたま上尾キャンパスの再開発
2 **中期計画**
・大学A及びBグラウンド用地の適切な活用法を検討する
・大部分が借地で占められている大学Cグラウンドを有効活用するための施策を検討する
・大学A及びBグラウンドの有効利用の検討に合わせて、みどり幼稚園園舎の建て替えを計画する
・大学3号館耐震補強工事を計画する
・必要に応じてゲストハウス及び駒込新館の有効利用を検討する

4 人材・組織

「教職員の自己革新」を支援するとともに学院に必要な人材を育成する。また、外部環境の変化に対応できる強い組織を確立する

1　**人材育成**
人材育成委員会を新設して、教員・職員の育成を図る
①教員
アクティブラーニングなどの教育技法を積極的に導入して授業を改善する
成績評価厳格化のための基準作りをする
②職員
管理職のマネジメント力育成、政策立案型職員の育成、業務上必要な職務遂行能力の基準作り、職務遂行能力向上研修、私大連等諸団体との関連におけるキャリアアップ施策検討、モチベーション向上のための施策などを検討し実施する

2　**組織運営**
・さらなる迅速かつ適切な意思決定のための組織体制を検討する
・公正な教員及び職員の人事制度・給与制度を構築する
・事務組織の全ての部署における業務基準を策定し、業務基準に沿って業務を改善する

5 ICT

聖学院教育を支える基盤としてのIT基盤を整備し、教育・業務のICT化（情報技術活用）を進める。また、ICTを活用し「一人一台、いつでもどこでも学べる環境」を目指す

ICTを用いた新しい教育手法の開発と、それを支えるITインフラの整備の充実
1　駒込キャンパスにおいては、ネットワーク網を一元的に整備、共通化することで、教育環境基盤を整える
2　上尾キャンパスにおいては、授業の中のICT導入が日常化しているので、特に増大する情報量に対応すべくインフラ整備を進める
3　駒込キャンパスと上尾キャンパスを結び、教育・業務の連携を進める
4　情報センターを中心に、ICT教育の聖学院一貫体制を構築する
5　各校でICTを活用した教育実践を行い、聖学院新ブランドとして「ICT教育の聖学院」を目指す
6　情報セキュリティ教育を、児童・生徒・学生及び教職員に適切に行う

6 広報

聖学院の強み及びブランドを世に知らしめるために、全学横断型の学院広報センターを設置し、広報部門の組織的広報力をさらに向上させて広報を戦略的に推進する

1　**学院広報センター設置計画**
学院全体の広報力強化に貢献するため、全体を統括するセンターを設立する
2019年度　学院広報委員会発足
2020年度　学院広報センター設置

2　**学院広報業務の強化ポイント**
・各学校間の教育企画や各校各園で行っている活動情報を事前に把握できる体制を整え、取材および情報発信を通して聖学院の魅力を広報する
・一貫教育の内容を可視化して、幼稚園から大学院までを擁する一貫校としての魅力を発信する
・プレスリリースの発信回数とメディア露出を増加させる
・学院ホームページをリニューアルし、ステークホルダーとのコミュニケーションを促進する

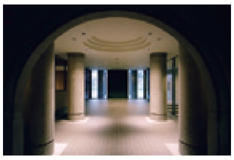
聖学院大学 SEIGAKUIN UNIVERSITY 1988

市民社会の各分野で
貢献できる人間の育成

〒362-8585　埼玉県上尾市戸崎1-1

○「一人を愛し、一人を育む。」質の高い少人数教育によって他者のために貢献する人格を育てる
○幅広い教養のうえに身につけた人間知と専門的知識をもって地域、社会、共同体へ貢献する人間を育成する
○多様でグローバルな、学生・教職員の集うキャンパス環境の中で、コミュニケーション力を持った積極的な人間を育て伸ばす

聖学院大学大学院 SEIGAKUIN UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL 1996



高度な専門的知識をもち
世界と社会に貢献しうる、
豊かな精神性のある人間を育成

〒362-8585　埼玉県上尾市戸崎1-1

○専門的な業務に従事するための幅広い知識と高度な研究能力を備えた「精神ある専門人」を養成する
○グローバル化した現代社会の諸問題に対する見識をもち、地域社会・共同体の課題に向きあえる実践的に有為な人間を育成する
○キリスト教思想やキリスト教の影響のもとにある文化を深く追究し教育研究を遂行しうる人材を養成する

女子聖学院中学校・高等学校 JOSHI SEIGAKUIN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOO 1905

それぞれが自分らしく
自己と他者への肯定感を育む

〒114-8574　東京都北区中里3-12-2

○進路獲得に向けたマイルストーンに基づく英語教育のさらなる充実
・授業とJSG講座、ラーニングセンターとを結び合わせることにより、英検のスコアを確実にアップさせていく
○思考力・判断力・表現力を伸ばすための教育プログラムの改革
・女子聖学院の教育ビジョンに適った独自の状態目標・JSGメタルーブリックの提示と教育プログラムの改革
○新しい学力を育てるための多目的教室「フューチャールーム」の設置
・グループ学習を機動的に行うための多目的教室設置

聖学院中学校・高等学校 SEIGAKUIN JUNIOR &SENIOR HIGH SCHOOL 1906

生徒一人ひとりがかけがえの
ない存在として他者に貢献

〒114-8502　東京都北区中里3-12-1

○キリスト教に基づく人間教育という人生の生き方の種まきに力を入れる
○21世紀のグローバル化に対応できる人材の育成に取り組む
・毎朝の全校礼拝を中心としたキリスト教教育の実践
・21世紀型教育（ICT、アクティブラーニング、英語教育、体験学習）のさらなる充実
○高校募集を検討する

聖学院小学校 SEIGAKUIN PRIMARY SCHOOL 1960

神から与えられた賜物と身につけた
知識、技能を自分のためだけでなく、
他者のためにも用いる人を育てる

〒114-8574　東京都北区中里3-13-1

○仕えるために必要な学力を育てる
・読む、書く、聴く、話すことのできる4技能を伴った英語力を育成する
・発言や文章によって自分の考え、思いを臆せず、的確に表現する力を育成する
○他者に奉仕しようとする心を育てる
・礼拝、聖書科、奉仕活動を充実させる
・縦割り活動（異学年、幼小）の場面を増やし、充実させる

沿革 History

- 1903　聖学院神学校設立
- 1905　女子聖学院神学部設立
- 1906　聖学院中学校設立
- 1912　中里幼稚園開設
- 1951　学校法人聖学院を組織
- 1960　女子聖学院小学部設立
- 1967　女子聖学院短期大学英文科開設
- 1978　女子聖学院短期大学附属幼稚園設立
- 1988　聖学院大学政治経済学部政治経済学科開設
- 1996　聖学院大学大学院政治政策学研究科開設

聖学院幼稚園 SEIGAKUIN KINDERGARTEN 1912

人に寄り添う心を持った
人を育てる

〒114-8574　東京都北区中里3-13-2

○隣人を愛する心を育てる
- 礼拝の充実
- 縦割り活動の充実

○現代社会の現状と子どもの変化を踏まえた保育の検証
- 現在実施している保育の検証をすることにより継続すべきこと、改革すべきことを見極め、保育の充実を図る
- 教員研修を充実させる

聖学院みどり幼稚園 SEIGAKUIN MIDORI KINDERGARTEN 1978

神様の愛の中で、人と
関わりながら生きる力を育む

〒331-0045　埼玉県さいたま市西区内野本郷820

○発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実を図る
- 発達支援アドバイザー、医療・保健・福祉施設等との連携
- 低年齢児の発達特性等の研究

○教育環境の改善を進める
- 人的環境、物的環境、自然環境、社会的環境の見直し・再構築

聖学院創立120周年を見据えた中期アクションプラン

学校法人 聖学院

長 期 構 想 委 員 会

編　　集／学校法人聖学院

発 行 日／2018年6月1日